

◆人口 13,981
{男6,653}
{女7,328}

◆世帯数 3,465
昭和46年9月1日現在

9月号
昭和46年9月20日発行
通算第65号

発行者 長洲町中央公民館
林田幸昌
発行人 広報長洲編集部
編集者 中央印刷紙工KK
印刷所

公民館生活信条

- 信頼できる仲間づくりを
- 生活に役立つ学習を
- 定刻に始め定刻に終わろう

広報 ながす

NAGASU

みんなの町です、みんなできれいに

街の環境美化に創意工夫を

◎観光客に「きれいな町」の印象を与えよう
有明航送船は四隻で三十分毎に島原半島との往復をし、たくさんの観光客が長洲町を通過して行く。車の上から見た彼等の目に長洲町はどんな印象を与えているだろうか。

境美化が常に叫ばれてきたが、未だ道端に塵を捨てたり、海や河川に塵芥を捨てる人が後を絶たない。「塵芥を捨てないで下さい。」の禁止の立札が立っている所に平気で又捨てて行く人もいる。ある時は、

戦後二十数年たち、経済の高度成長と「消費は美德なり」という消費生活の高度化に正比例して塵芥の量が倍増し、それに対する町の清掃車の能力に限度があり、十分に回収できない所にもその原因の一端はある

式の塵芥焼却場を本年度建設した。一日の焼却能力二十一トで、現在の焼却炉の十倍の威力を持ったものであり、将来長洲全町の塵芥収集をし、それを焼却する能力を持っているので、必ずや近い将来この問題も解決することだと

いう。そのため焼却炉で燃えずに困ったという。これから残飯は是非区分して

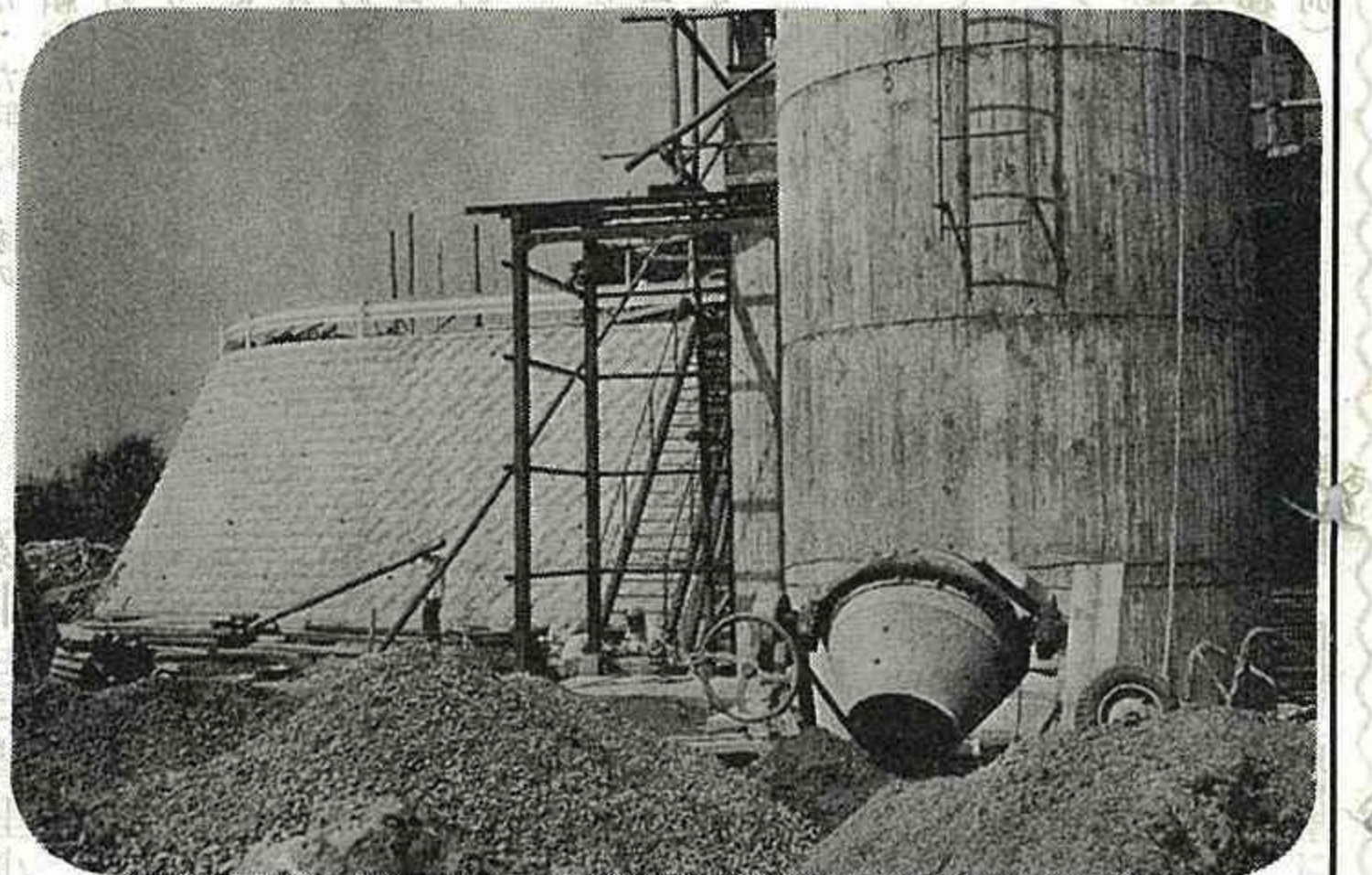
海岸埋立地の日立造船用地建設現場は新興長洲町の印象を先づ彼等に与えるだろう、しかし、その後に来る沿道の景色が塵芥に汚れたきたない道路であったら、「きたない町」だなという印象を与えるであろう。果して、長洲町はどんなであろうか。

川の中段の石垣に腰かけて夜釣りを楽しんでいた人の頭の上に塵を捨てていった人もあったという。公衆道徳はどこにいったのだろう。

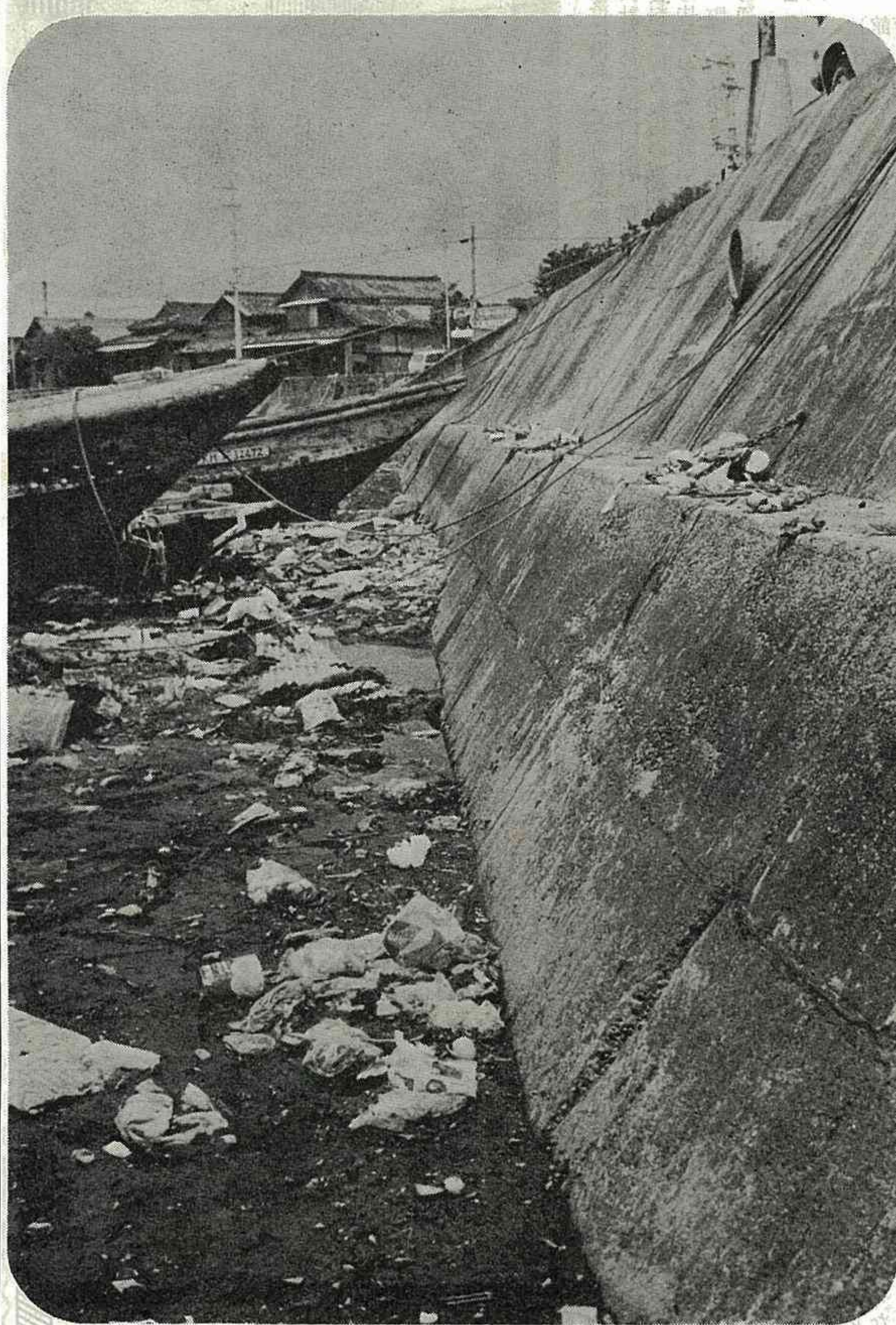
◎塵芥の処理はみんなの協力で!!

町当局はこの問題解決のため地元住民の理解あるご協力により六栄地区に最新

決するであろう。又、塵芥処理について住民の人たちもできる限りの創意工夫で協力してもらわなければならない。現在清掃車で塵芥の収集をする時、一番困るのは残飯を、塵芥の中に一緒に捨ててあ



(完成間近い塵芥焼却場)



(なんとかならぬものだろうかゴミの山)

うさぎ追いの山
小ぶな釣りの川
海は広いなあ大きな川
月は登る日は沈む
これらは、きれいな海や川を現わした歌の一節です。
昔は長洲の町も、こんなにきれいな海や川があったはずで、現代の子供たちは、長洲のきれいな海や川を眺めながら、この歌を口づさんでいます。およそ現代とはかけ離れた昔のきれいな海や川があった長洲のことは想像もしていないでしょう。最近、公害問題が大きくクローズアップされ、海や川をきれいにしようという各面でも、その防止対策に真剣に取り組んでいるようです。有害な廃液を流す工場などについては、勿論自主積極的にその防止にとめていたがねばなりません、その前に私たちも、私たちのすぐ廻りのことを考えてみましょう。

きれいな海や川であるはずのその海や川が「ちり捨て場」と化しているではありませんか。ありとあらゆる廃物、残飯類がそここの海や川に、あたりおこまに捨てられ、犬がたかり、はえがとびかい、非衛生的にも、この上ありません。御承知のとおり、海や川に、ものを捨てることは清掃法や軽犯罪法で禁止されています。勿論、罰則もあります。私も警察といたしましても長洲の海や川をきれいにするため、止むを得ず今後このような行為者を発見したら遠慮なく検挙することにしました。
長洲の町民の一人一人が、よく考えていただきまして、今後海や川にものを捨てる、又は汚すという事のないようにしていただきたいと思えます。
長洲の海や川をきれいにするために……

◎公民館生活信条は日と共に町民の中に浸透しつつある。「定刻に始め、定刻に終わろう」は、公民館の会合で既に百%守られているし、長洲町の他の会合でも習慣づけが進んでいるようである。「時は金なり」古人の格言は今も生きています。
◎公民館の池のほとりに植えた日中花が可憐な花を咲かせている。早咲きの菊の花売りの声と共に秋は一日と深みゆくのである。(林田)

さざなみ

◎近代的な白壁の公民館に入り、初めて迎えた夏。「暑い、暑い。」を連発している中に早や初秋の候となった。日立造船の用地造成が急ピッチで進む新塘の堤防には、丈なすの穂が秋の装いをすましている。空の色、雲のただよみにも秋を感じる頃である。◎秋の訪れと共にやって来るのは、九月十五日(敬老の日)の敬老会である。今年敬老会に例年になく喜ばしいことが一つある。それは西荒神町の茂見チユさん(百才)に才なれたいことである。一口に百才といっても、百年の歳月を生きた抜くことは並大抵のことではできないことである。ご本人の撰生と逞しい生命力がそれを可能にしたのである。このめでたいことを記念して中逸町長から茂見チユさんに特別賞を差し上げ、町を挙げてその長寿をお祝いするのである。これからは百才になれる方がどしどし出てきたらいいものである。◎今年の敬老会には八十才以上の高令者の作品展と写真展をやった。お年寄を中心にしたほほえましい写真や丹青こめて作った作品には感心させられるものがあった。お年寄りに生活のほりを生き甲斐を持たせることが、なにより親孝行ではなからうか。敬老の精神はこれからも益々大切にしていきたいものである。◎七月から始まった町政座談会は各地で好評の中に終わった。これから大きく発展しようとする長洲町で、町長を初め各課長と町民が膝をまじえて話し合うことは、常に町民と共にある中逸町長の力強い姿であり、民主的な長洲町の姿であろう。健康で豊かな町づくりは町民との対話の政治から生れてくるものである。◎公民館の新築と共に設定した三つの生活信条は日と共に町民の中に浸透しつつある。「定刻に始め、定刻に終わろう」は、公民館の会合で既に百%守られているし、長洲町の他の会合でも習慣づけが進んでいるようである。「時は金なり」古人の格言は今も生きています。
◎公民館の池のほとりに植えた日中花が可憐な花を咲かせている。早咲きの菊の花売りの声と共に秋は一日と深みゆくのである。(林田)

車はカッコイイ

BBS会が中学生を対象に

社明アンケート実施

七月に行なわれた社会を明かすアンケート運動期間中、本町BBS会は、運動の一環として、長洲中、腹赤中の全生徒を対象に社明アンケートを試みた。最近の群馬県での連続女性誘拐殺人事件に連関して、犯罪予防の面で今後重要な意味を参考にする

七月に行なわれた社会を明かすアンケート運動期間中、本町BBS会は、運動の一環として、長洲中、腹赤中の全生徒を対象に社明アンケートを試みた。最近の群馬県での連続女性誘拐殺人事件に連関して、犯罪予防の面で今後重要な意味を参考にする

七月は法務省提唱の「社会を明るくする運動」月間であった。長洲町でも、社明運動作文募集、社明パレード(十七日)青少年補導研修会(十七日)キャンプファイヤー(十七日)社明大会(二十日)、早起きソフト大会(八日より)等の一連の行事を盛大に行なった。例年の行事の中で、今年の新しい試みとして、腹赤小学校で行なったキャンプファイヤーは、夏空の下にくっきりと灯された火を囲んでの友情の集いで、盆おどりのなごやかな雰囲気、夜おそくまで賑わった。本町ボーイスカウトの指導、運営で規律正しく、又なごやかなひとときであった。

群馬県における女性誘拐殺人事件をはじめ、全国的に、自動車を利用した婦女暴行事件が多く発生しています。県内でも本年一月から四月までの間、検挙された強姦事件一五件のうち一件が、又強姦いせつ事件がちなだし、誘拐の手段も実に巧妙化している昨今である。

九件のうち八件が、自動車利用による犯行でした。荒尾警察署管内でも、同じような事件が発生しておりまして、決してよそ事ではありません。これらはいずれも男性から誘われた場合、女性が無防備、軽率であったことが、おもな原因となっております。もちろん犯人が悪いのですが……

今後このような事件の発生を防ぐため全女性の一人一人が次のようなことが十分に注意していただきたいと思っております。一、どんなに知ったものでも男性の車には用心し、誘われても乗らないこと。二、通すがりの男性から「お茶でものみませんか」「車で送りますよ」「ドライブでもしませんか」などと誘われても、しっかりと断る。三、危険を感じた時は、助けを求めろ。

小学生の部 ▲
清小五年 藤川 美史
清小六年 魚島 敬子
長小五年 立山 淳子
長小六年 吉井伊津子
▲佳作▼
腹小六年 西林 泰光
田上 智子
浜田紀久子
山村 隆朗
中島 雪子
吉田 千秋
川島 三幸
荒尾 昌子
山村 由美
清小六年 野田 光博

中学校の部 ▲
長中二年 藤川 純彦
長中二年 磯野ますみ
▲佳作▼
長中三年 松高由美子
一年 寺田ひづる
腹中二年 馬場 泰子
中島千穂子
増田 直美
▲一般の部▲
▲入選▼
清源寺 木山 一代
▲佳作▼
東荒神町 塩山アイ子
清源寺 栄 文子
西荒神町 浜辺 斉

7/21	東荒神	(中央公民館)	64名
7/23	西新町、宮の町	(四王子宮社務所)	27名
7/25	葛輪、赤田	(一先宮公民館)	41名
7/25	宮崎	(宮崎公民館)	52名
7/25	立野	(立野公民館)	27名
7/26	塩屋	(塩屋公民館)	34名
7/26	腹赤	(腹赤天満宮)	36名
7/26	上沖洲	(上沖洲公民館)	192名
7/30	上磯、中磯、下磯	(長洲漁協)	37名
8/1	清源寺	(清源寺天満宮)	159名
8/2	上宝、中宝、下宝	(長光寺)	71名
8/3	下松原、下松原、新山	(長洲中体育館)	70名
8/3	中向	(塘岡駐在員宅)	80名
8/7	町野	(向野公民館)	34名
8/8	野栗	(野栗公民館)	32名
8/10	梅田	(梅田公民館)	29名
8/11	駅通り	(駅通り公民館)	29名
8/16	建平	(建平公民館)	75名
8/17	新赤	(平原公民館)	36名
8/17	折地	(宮本駐在員宅)	33名
8/18	折地	(赤崎公民館)	28名
8/18	折出	(折地公民館)	43名
8/19	上今、上東、中今、上本、下今	(長洲第2保育園)	48名
8/21	上永	(永方公民館)	28名
8/21	方東	(永方公民館)	42名
8/23	清台	(清台寺)	67名
8/24	腹赤	(腹赤新町公民館)	55名
8/25	本高	(月田酒店)	53名
8/26	高田	(高田公民館)	11名
8/30	西荒神	(塚野駐在員宅)	44名
9/1	大明神	(中央公民館)	27名

群馬県における女性誘拐殺人事件をはじめ、全国的に、自動車を利用した婦女暴行事件が多く発生しています。県内でも本年一月から四月までの間、検挙された強姦事件一五件のうち一件が、又強姦いせつ事件がちなだし、誘拐の手段も実に巧妙化している昨今である。

九件のうち八件が、自動車利用による犯行でした。荒尾警察署管内でも、同じような事件が発生しておりまして、決してよそ事ではありません。これらはいずれも男性から誘われた場合、女性が無防備、軽率であったことが、おもな原因となっております。もちろん犯人が悪いのですが……

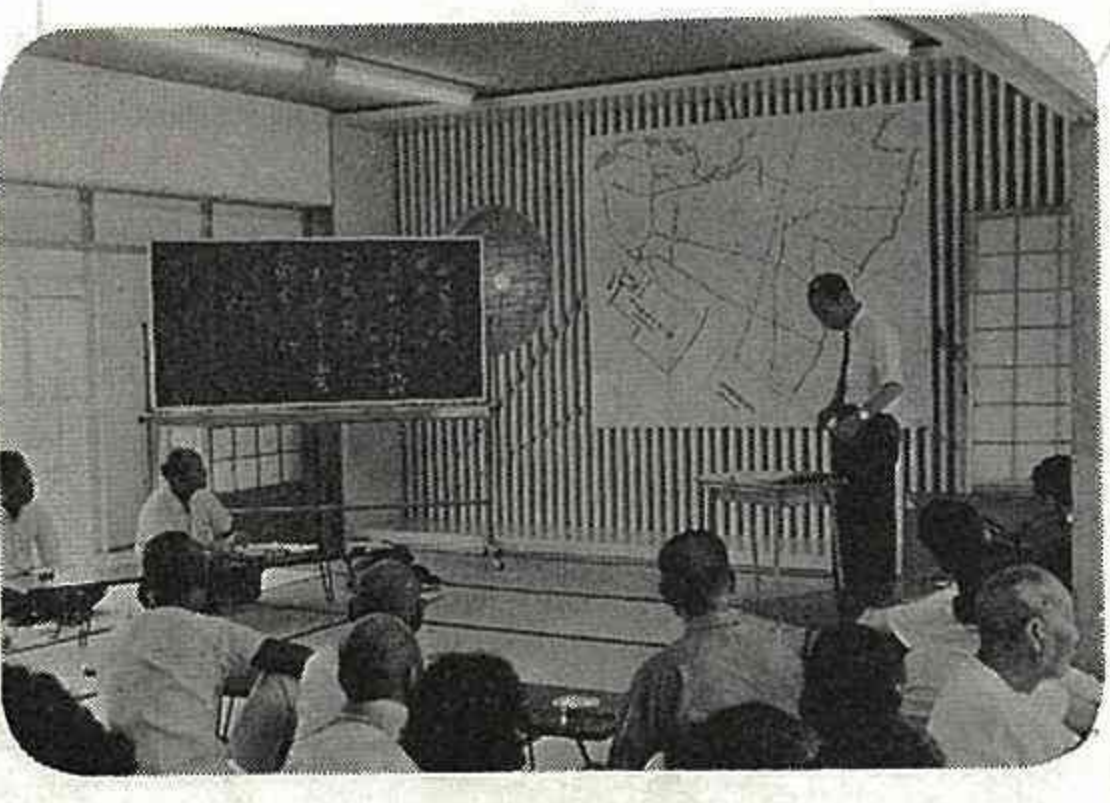
今後このような事件の発生を防ぐため全女性の一人一人が次のようなことが十分に注意していただきたいと思っております。一、どんなに知ったものでも男性の車には用心し、誘われても乗らないこと。二、通すがりの男性から「お茶でものみませんか」「車で送りますよ」「ドライブでもしませんか」などと誘われても、しっかりと断る。三、危険を感じた時は、助けを求めろ。

小学生の部 ▲
清小五年 藤川 美史
清小六年 魚島 敬子
長小五年 立山 淳子
長小六年 吉井伊津子
▲佳作▼
腹小六年 西林 泰光
田上 智子
浜田紀久子
山村 隆朗
中島 雪子
吉田 千秋
川島 三幸
荒尾 昌子
山村 由美
清小六年 野田 光博

中学校の部 ▲
長中二年 藤川 純彦
長中二年 磯野ますみ
▲佳作▼
長中三年 松高由美子
一年 寺田ひづる
腹中二年 馬場 泰子
中島千穂子
増田 直美
▲一般の部▲
▲入選▼
清源寺 木山 一代
▲佳作▼
東荒神町 塩山アイ子
清源寺 栄 文子
西荒神町 浜辺 斉

43部落をくまなく

町政座談会好評を博す



七月は法務省提唱の「社会を明るくする運動」月間であった。長洲町でも、社明運動作文募集、社明パレード(十七日)青少年補導研修会(十七日)キャンプファイヤー(十七日)社明大会(二十日)、早起きソフト大会(八日より)等の一連の行事を盛大に行なった。例年の行事の中で、今年の新しい試みとして、腹赤小学校で行なったキャンプファイヤーは、夏空の下にくっきりと灯された火を囲んでの友情の集いで、盆おどりのなごやかな雰囲気、夜おそくまで賑わった。本町ボーイスカウトの指導、運営で規律正しく、又なごやかなひとときであった。

七月は法務省提唱の「社会を明るくする運動」月間であった。長洲町でも、社明運動作文募集、社明パレード(十七日)青少年補導研修会(十七日)キャンプファイヤー(十七日)社明大会(二十日)、早起きソフト大会(八日より)等の一連の行事を盛大に行なった。例年の行事の中で、今年の新しい試みとして、腹赤小学校で行なったキャンプファイヤーは、夏空の下にくっきりと灯された火を囲んでの友情の集いで、盆おどりのなごやかな雰囲気、夜おそくまで賑わった。本町ボーイスカウトの指導、運営で規律正しく、又なごやかなひとときであった。

社明運動行事より

私には小学四年生と一年生の二人の子供がいる。今、私はこの子供達に望んでいることは勉強する子になって欲しいということである。勉強する子とは、母親の虚栄の為に勉強ばかりをする子ではない。そういう点を子供達に伝えたくて、ある日、次のような物を書いて子供達に見せた。

高志、正一、お母さんのこと教えてください。お母さんが七才の頃「勉強する子になってね」と、お母さんのお母さんは死にました。私は領いて「勉強するよ」と云いました。それから高等学校へも行けなかったけれど、机の前で勉強ばかり勉強しなさいと海へ行ったり畑へ行ったりして

二人の子供が、これを読んだ、どう思ったかは聞いていないので知らない。ただ勉強する子になって欲しいと思ったので

こんな方法をとってみたいのだ。食べさせる、着せる、必要なだけのお金をやる、こんな育児をしてきたことを強く反省している私は、この社明運動を機に家庭から一歩外に出て「青少年を正しく導くには」と社会へ目を向けて見る。大きく眼を見開いてみる。二人の子供を放っておけなくて、梨の袋掛けに行かなくなった時、丁度、急者のレッテルが背中中に貼り着けられたように道を行きたいと思った。「働け、金が入ってくる」「働け、金が入ってくる」なんと響のいい言葉だ。しかし今日の青少年を望めるだろうか。大きな家を持つ望み、土地を持つ望み、人間の一生がそのために終るものであったら、なんとちっぽけな味気ないものだろう。道を行いていると「しきのあきらみ」「あきらみ」と見聞違う程の人がいる。この町にも「しきのあきらみ」「あきらみ」がこんなに歩いていて、うちの、私達大人が、昔と今の変化もない「働け、溜めよ」の主義では青少年に飽きられ

希望者は荒尾警察署防犯係 (TEL三一二二) までな

希望者は荒尾警察署防犯係 (TEL三一二二) までな

希望者は荒尾警察署防犯係 (TEL三一二二) までな

希望者は荒尾警察署防犯係 (TEL三一二二) までな

御存知ですか

小作料の標準額

(農業委員会)

昭和十四年に小作料統制令により統制されて以来三十余年間にわたって、その最高額が統制されて来ましたが、この間における小作料の額については、当事者にはほとんど自由がなく、統制額が契約小作料の額となっていたのが実情であります。しかし昭和四十五年改正法により、同法施行(十月一日)後に設定される新規の小作地については、小作料の最高額の統制が廃止されました。この結果、新規の小作地の小作料の額については当事者の自由な決定に委ねられるわけでありますが、その前提としては小作料がその耕作者の再生産を阻害しないような妥当な水準で形成され、また維持されるべき期待されているのであります。現在の社会経済事情のもとにおいては、耕作者の地位の安定を脅かすような高率小作料が形成されることは、一般的にはないといえます。しかし、地域的または個人的にみた場合には、高率小作料が

を次のとおり定め加ので、同法第三項の規定により公示する。
昭和四十六年八月十九日
長洲町農業委員会

農地の区分	小作料の標準額
田の部	一六、〇〇〇円
上田	一六、〇〇〇円

中田	一三、五〇〇円
下田	七、七〇〇円
畑の部	
普通畑	四、〇〇〇円

備考
上田十アール当取量五二〇キロ
中田十アール当取量四八〇キロ
下田十アール当取量三九〇キロ

広報を送ろう!!

異郷で働く人へ



広報が、大変なことです。大変なつかり、みんなて読みました。長洲は企業の進出で大発展を約束されている。うですが、郷土の前進を異郷の空の下よりお祈りしております。これは、

長洲町から食中毒と

伝染病を追放しよう

夏の健康を守る運動

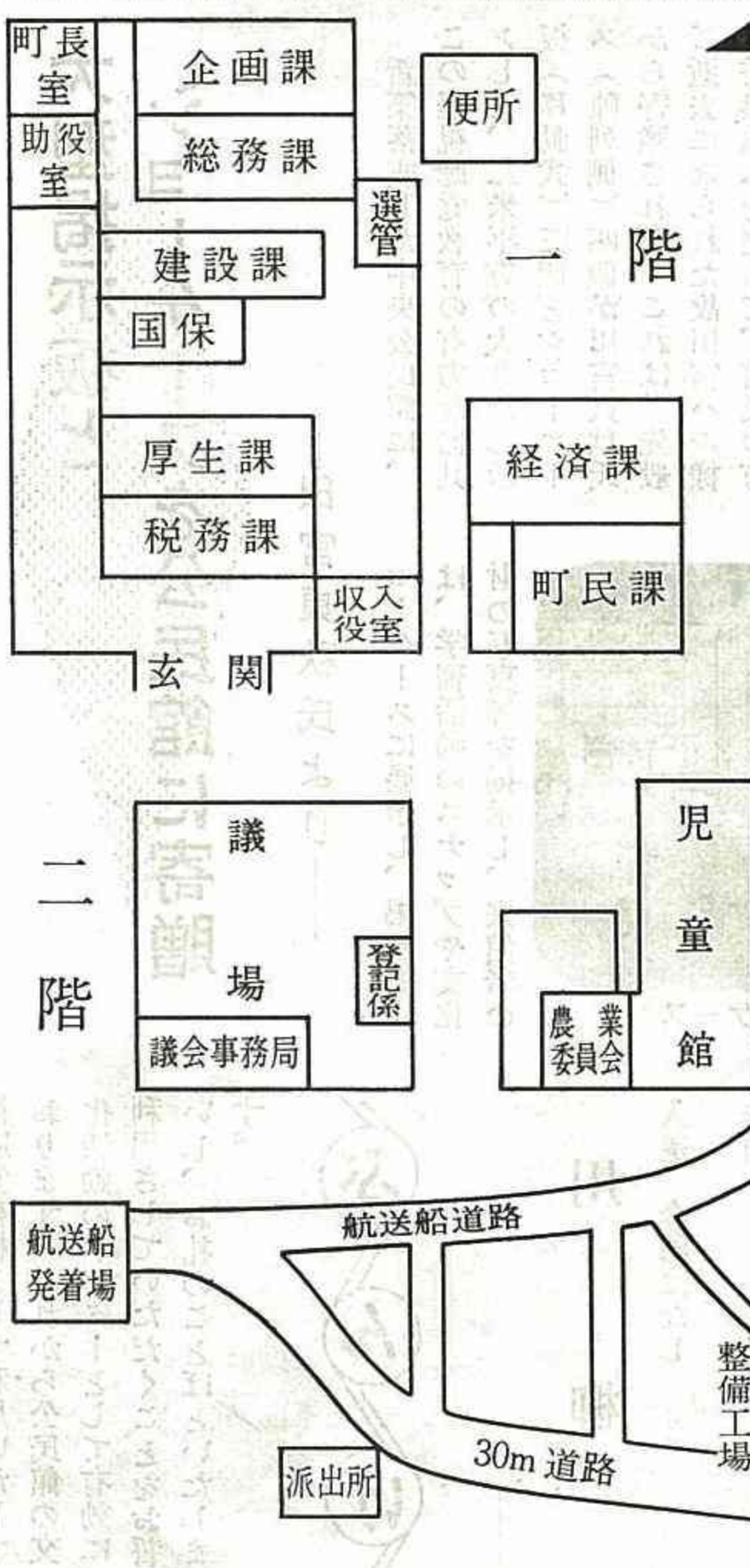
長農委公示第九号
農地法第二十四条の二第二項の規定に基づき、小作料の標準額

食中毒と伝染病のシーズンとなり、長洲町からこの二つを追

いらっしやいませ

役場公民館はこちらです

お気軽においで下さい



- ◎手洗いの励行
- ◎風とゴキブリ、蠅、蚊の撲滅
- ◎冷蔵庫の温度を一〇度以下に保つこと。
- ◎衛生的な店で新鮮な食品を購入すること。

郷土の遺跡を訪ねて

長洲郷土ものがたり

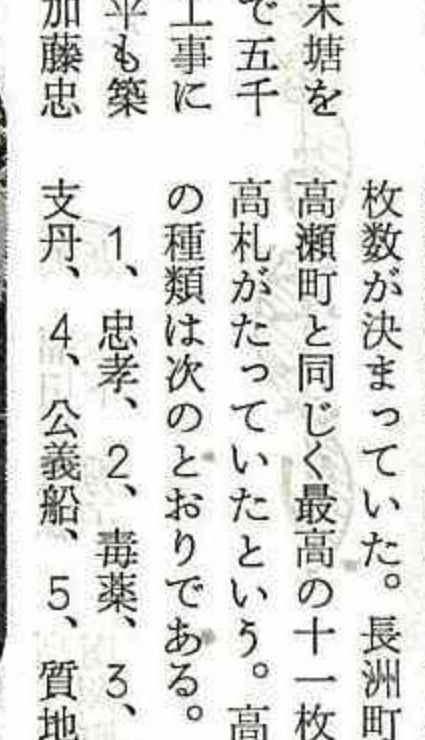
拾遺集

◎野原荘に属していた長洲(平安時代)
腹赤、六栄、長洲、清里を含めた現在の長洲町は、平安時代には野原荘に属していた。野原荘三〇村は京都石清水八幡宮の善法寺家を本家とした宇佐八幡宮の神宮寺跡寺喜喜多院を領家とした荘園であった。当時のこの地方の開拓者が寄進したものだといわれる。野原荘は表面積八〇〇町歩の広大な荘園であった。一の宮八幡宮(現在の野原八幡宮)を中心としたものであった。後に、鎌倉時代に小代氏が地頭として赴任し、荘園の地下中分が行われ、西郷を小代氏が領し、東郷は喜喜多院の荘園として残され、長洲は東郷に属していたといふ。

◎赤崎の古城を築いた斎院次官親能
斎院次官親能は鎌倉時代の人で、源頼朝の信任厚い家来であり、鎌倉幕府公文所長官大江広元の兄である。一一九五年(建久六年)五月頼朝より鎮西守護人に任ぜられ、筑後、豊後、肥後三カ国の守護を兼任した。しかし、親能は幕府の重要な人物であったので、本人は西国には下向せず、その部下が城主として留まったものである。初め大野下の内野城を築き、そこに住んでいたが、後に赤崎の古城を築き移ったといふ。それまで赤崎城は相良宗頼の支配するところであったといふ。

◎高瀬に移った清源寺
高瀬五山の第一座清源寺は、初め清源寺村大女にあった。現在の正福寺の所であったといふ。

◎大野氏の祖国隆の法名をとって大女に建てられたといふ。玉名郡誌によると「右清源寺村に居申処貞和五年菊池武尚公御寄



(清源寺跡に建てられた正福寺)

◎行末塘築堤に閑忠平が貢献
加藤清正が天正年間行末塘を築堤した時、清正の家来で五千五百石飯田角兵衛がその工事に当り、その譜代の臣閑忠平も築堤工事に従事した。後に加藤忠広が改易になった時、浪人となって沖洲に住みつき、土地の住人になったのである。江戸時代に荒尾手水の惣庄屋として郷土の治水土木事業に大きな貢献をした閑忠之允はその子孫である。

◎江戸時代荒尾郷の中心都市であった長洲町
細川氏が肥後に入国して、郷制度が手永制度に変わり、数十カ村を治める行政区劃となった。そして、手永を治める役所を会所といひ、その長官を惣庄屋といひ、荒尾手水の会所は江戸時代は長洲にあり、現在の宮の町の津崎時計店から守屋茶舗一帯にかけてあったといわれている。その時の罪人を処刑した跡が今でも残っているという。会所のあった所が手永の中心地であるから、長洲は現在の荒尾市、長洲町を含めた荒尾郷の中心都市であったことが分かる。

◎在町であった長洲町
細川時代に町村は五段階に分かれていた。五カ町、准町、宿町、在町、そして、村のことを在と呼んだ。老人は今でも田舎のことを在と呼ぶのは、江戸時代の名残りであろう。長洲町は江戸時代には在町であり、郡内では肥猪(南関)、大島(荒尾)、大浜(玉名)等があった。当時は町の格式で営業品目が限定されており、長洲町では衣類、食品、道具類四〇種余が許可されていたといふ。又、六斉市といつて一月に六回市をたてることが許されていた。

◎御高札十一枚の長洲町
江戸時代幕府の禁制の条々及び法度など永久的なきまりを、長さ二尺高さ一尺二寸程の木片に墨書して一般に公示したのが高札である。町の四ツ辻や主要往還筋にたち、町によってその枚数が決まっていた。長洲町は高瀬町と同じく最高の十一枚の高札がたっていたといふ。高札の種類は次のとおりである。
1、忠孝、2、毒薬、3、切支丹、4、公義船、5、質地、6、人売買、7、西国中国、8、従前浦々高札、9、於浦々借船候異国船の技術、10、異国船より技術買入金元、11、伴天連

◎長洲新塘は二回にわたって築堤された
新塘は清正公がつくられたといふ人は思っていた。しかし、清正公ではなく、細川三代の藩主綱利の時、寛文四年(一六六四)八月から十月にかけて、長洲町、高浜、梅田、永方、塩屋の一町四村の村民の夫力を動員し、郡奉行塩山牛右衛門、御惣庄屋荒尾左衛門の指揮監督によってつくられたといふ。しかし、現在の新堤が三カ月で出来上ったのではなく、現在見る新堤は寛文四年(一六六四)から延宝四年(一七二六)まで十二年間かかって現在の石垣の防潮堤防ができたのである。そして、幾度かの台風で決かきし、補強して現在の新堤になっているのである。その新堤が日立造船の進出による用地造成で、千米先に防潮堤防が出来つつあり、もはや防潮堤防としてでなく、工場と内陸部を区切る道路として生まれかわろうとしていることは感慨深いものである。

◎享保年間の飢饉
馬場十助氏の書かれた江戸時代の旧事記によれば、享保十七年(一七三三)虫害により大凶作になり、それに洪水やいなごの害が重なって、青みのある田は少ししかなく惨状をきわめたといい、人々は家財道具を売って糧米に代えたが、米の不足と米価の高値で餓死者が多く出たといふ。その上、狂犬病が流行し、人や牛馬が発狂して死ぬ者も多く出たといふ。誠に長洲町にとって悪い時代であった。

◎江戸時代の塩田
江戸時代肥後藩では有明海沿岸一帯で塩田による製塩が行なわれた。記録によれば長洲町では次のところで行なわれていたことが分かる。
長洲かめ頭(寛文年間細川氏の開発によって行なう)
長洲西幸田(宝永元年一七〇四)頃より古浜三〇町位で行なう)
塩屋村(宝曆十二年一七六二)頃に行なう)
平原村(宝曆十三年一七六三)頃に行なう)

◎赤崎の古城を築いた斎院次官親能
斎院次官親能は鎌倉時代の人で、源頼朝の信任厚い家来であり、鎌倉幕府公文所長官大江広元の兄である。一一九五年(建久六年)五月頼朝より鎮西守護人に任ぜられ、筑後、豊後、肥後三カ国の守護を兼任した。しかし、親能は幕府の重要な人物であったので、本人は西国には下向せず、その部下が城主として留まったものである。初め大野下の内野城を築き、そこに住んでいたが、後に赤崎の古城を築き移ったといふ。それまで赤崎城は相良宗頼の支配するところであったといふ。

◎高瀬に移った清源寺
高瀬五山の第一座清源寺は、初め清源寺村大女にあった。現在の正福寺の所であったといふ。

◎大野氏の祖国隆の法名をとって大女に建てられたといふ。玉名郡誌によると「右清源寺村に居申処貞和五年菊池武尚公御寄

大型掲示板と ショーケースを公民館に寄贈

田宮貞秋氏より



(大型掲示板とショーケース)

新築落成した中央公民館に、この程視聴覚教育の有力な器具として、二米平方の大きな掲示板(移動式)三個とショーケース(陳列棚)四個が田宮貞秋氏から寄贈された。これは、先般ご逝去になられた故田宮ハル様の香典返しを際して、町民の方々が多数利用される中央公民館の備品として寄贈されたものである。中央公民館では、氏の御芳志に報いるため、十二分にこの教具を利用させていただき、早速、南極の石や弥生式土器、古い教科書や翠汀会の機関誌をシ

比島の戦跡を訪ねて

厚生課長

松野 野 司

ワイキキの浜辺を彷彿させるリンガエン湾の椰子の木陰で旅情を満喫しながら中食をとる日は、ミスターロドリゲスの自慢していたところであるが、実際に座ってみると、風もなく木陰も薄くて評判が悪かった。肝甚の手洗いなかつたので女性陣から苦情も出た。それで着から五十米余り内陸に入った漁師小屋の前の木陰に移った。そこには水道があった。それはヒネリ栓のない出っぱなしの蛇口で、チョロチョロ水であったが、ほこりにまみれている一行には何よりも有難かった。顔を洗って、さっぱりしたところで、さあ、飯にするかと、どかどか座つたら、近くの学校の生徒達がどやどやとやってきた。私が「プリーズ・ウェイットアモーメント」と言ったところ、中でも利口そうなミス・フェルナンド(後で教えてくれた)が微笑みうなづいた。そのチャールディングなことを、まげこんでいた

視聴覚教材として利用いたしてあります。これから公民館の文化活動のセンターとして有効に利用させていただくことをお誓いし、お礼のことばといたします。(公民館)

又、故福井マール様の香典返しを際して、教育委員会に金一封を福井秀喜様より寄贈されました。併せて、お礼申し上げます。

川柳
入選 今回はなし
佳句
よく飲んだ友と別れの通夜の酒 清源寺 浜村瑞穂
事故やっつてからアツツリと酒を断ち 上磯 吉川勝喜
一合の酒が長寿とインタビエ 大明神 菊川蘇水
いい嫁を見つけて帰る千鳥足 清源寺 楠田時義

けられた溢れるばかりの汁をたいた椰子の実を手にして、一口、二口、三口と飲んでみた。美味でもないが、まずくもない。千種さんが「私にも飲まして」と、せつづくので、半分位飲み残して回したが、私は彼等の親切、好意が嬉しくなりました。
「アイライク・スクールガールズ・アンドボーイズ・ソウ・アイ・ドゥウネイトマニー・トウデイス・スクール(学校に寄附したい)」と言った。俄然、私は彼等の人間的になり、何時しか取り囲まれ、中心に立たされた。
女の先生が三人やってきた。一番年の若そうな先生の手をとって私は「生徒達も可愛いと言ったが、握手の掌に拒絶反応は無く満更でもないさそうであった。意を強くした私は、他の二人の先生にも一杯の御愛嬌を言った。先生達は「大歓迎するから学校にお立寄り下さい」と言ってくれた。私は「折角だから皆んなで行こう」と先頭に立った。学校についてから教室に通してくれた。黒板には一杯き

もういやあれだけ世話ばせといて 清源寺 茂村清郷
もういや公害のある企業なら 出町 へんくつ王
評
今回は、夏枯れが全般的に、低調のようでした。次回の投句をお待ちしております。
尚この欄に俳句の欄を是非設けてほしいとの要望がありましたので次回から俳句の投句もお願いいたします。俳句の出題はしばらくの間当季雑詠で御投句下さい。次回の出題は次のとおりです

剣友会少年部員募集!!
今度長洲町体育協会内の剣道部で小学三年生より六年生までの希望者を募集することにしました。つきましては、左記の要項をよく読んで御父兄の承諾書を添え申し込んで下さい。
記

いな字で英語が書いてあった。三人のうちでも最も背の低い、あの先生の字だあと、上部の黒板の空白から、そう推量していたら、案の定、その先生が入ってこられた。
「子供達のためにお言葉をして」と言われているとミスター中村が伝えたので、私はためらうことなく大きな字で上部の黒板の空いているところに
アジア民族は仲良くしよう!!
と書き、ミスター中村に「スベルに自信がない、エーシヤンビープル……」と書いてくれと頼んだ。彼は初めて弾んだような声でOK!!と言って、
エーシヤンビープル・アフレソズ・イーチ・アザール!!と、肉太く活字で書いた。
彼もなかなか智恵者である。筆記体で書いたら、下に書いてあるきれいな先生の字と比較されるので活字で書きやがった。この機転、私は好きである。
室内に割れるような歓声があった。友愛の意志が通じたのである。私は、声を揃えて読んでおらおうと先生の椅子の上にも立った。ところが、どうしたはずみか椅子が回転して平衡を失い私は、仰向けに倒れそうに

「酢の物、和え物のコツ」

酢の物、和え物は夏向きの献立で、味の良さは勿論です。材料の切り方、ゆで加減、絞りが、舌ざわり、歯ざわりに関連して、上手、不得手につながります。

- ・具も調味料も充分さまさまして用いる(器も冷やすと良い)
- ・一度、下味をつける必要があるものはつける。(わかめ等)

一口しき

- ・酢の物は新鮮な材料と良質の酢を用いること。
- ・又、材料と合わせ酢のとり合わせが大切です。
- ・主材料の下ごしらえ
- ・野菜類は塩もみし、水気を切って用いたり、熱湯に通し、あるいはゆでて用いる。
- ・なま物は塩でしめて酢洗いしたり、昆布じめ、霜ふりにして用いたり、又あらかじめ、うす味をつけて用いる。

- ### カップル誕生
- 7時半より児童館において練習をしています。(剣道部部長 川富 稔)
- おめでとー
- S.46.6.14日より
- | | |
|-----------|-------------|
| 妻 村 上 斎穂 | 夫 平 原 大川市 |
| 妻 眞 美 智子 | 夫 上 田 公 夫 |
| 妻 洲 崎 正 敏 | 夫 下 松 原 新 町 |
| 妻 中 川 カズ子 | 夫 御 船 町 |
| 妻 竹 本 俊 秋 | 夫 荒 尾 市 |
| 妻 林 喜 美 代 | 夫 南 関 町 |
| 妻 木 下 秋 弘 | 夫 南 関 町 |

- 長洲町社会福祉協議会へ下記の方より多額の御寄附をいただきました。
- ・杉浦雄一殿死亡による香典返し(杉浦良一殿より(永方))
 - ・野畑セツ殿死亡による香典返し(野畑日吉殿より(建彦))
 - ・長尾利剣殿死亡による香典返し(長尾ナヲ殿より(上本))
 - ・杉本太郎殿死亡による香典返し(杉本太郎殿より(向野))
 - ・偶倉清子殿死亡による香典返し(偶倉美義殿より(中宝))
 - ・山本一殿死亡による香典返し(山本一殿より(上本))
 - ・植本ヨネ殿死亡による香典返し(植本米男殿より(上本))
 - ・野田早人殿死亡による香典返し(野田喬殿より(梅田))
 - ・長田勝蔵殿死亡による香典返し(長田晴明殿より(出町))
 - ・迎統道殿死亡による香典返し(迎統公明殿より(永方))
 - ・中坂トシエ殿死亡による香典返し(中坂寛殿より(西新))
 - ・上野トハ殿死亡による香典返し(上野野馬殿より(平原))
 - ・木村造酒蔵殿死亡による香典返し(木村敏郎殿より(下磯))
 - ・上田マサ殿死亡による香典返し(上田謙殿より(葛輪))
 - ・上田浩殿死亡による香典返し(上田喜喜殿より(葛輪))
 - ・竹下竹次殿死亡による香典返し(竹下武幸殿より(上沖洲))
 - ・浜崎サヤ殿死亡による香典返し(浜崎光扶殿より(上沖洲))
 - ・中川ツエ殿死亡による香典返し(中川千代吉殿より(中町))
 - ・浜口松太郎殿死亡による香典返し(浜口正吉殿より(中宝))
 - ・清瀬貢殿死亡による香典返し(清瀬義夫殿より(腹赤))
 - ・山本正英殿より(梅田) 社協の事業資金として(梅田)
 - ・有明航空船組合より(昭和46年7月20日現在)
- ### 編集後記
- 不慮の事故は怖いものはない。人々を悲嘆のどん底に陥れ入れる。魔の瞬間はいついかなる時も、誰の周りにも存在する。逝った者、遺された者、加害者、被害者の苦しみ、悲しみは千言万言尽くしてみても及ばない。人命ばかりはスベアはない。決して他山の石とせず、いつかは自分にふりかかってくるものと思ふ位の注意をしたくものである。広報編集もやまんなりの智恵を拝借したいものです。建設的な意見をお寄せ下さい。(いのもと)